

阿部良平先生の思い出

姫路市立新制高等学校 井上完爾

近く第三回日本生物教育大会が我が兵庫縣で開催されるようになったことは斯道のためまことによるこぼしいことである。それにつけても阿部先生が今は既になく御出席されないことは何となくものたらない寂しさを感じさせる。博物学会とか生物学会には何時も陣頭に立、悠揚せまらぬ御態度で、特徴のあるまばたきのお首を右へ急に廻わされる所作とを週期的に繰かへしながら諄々と解かれ、聞く者をして十三分に納得させるそのお姿は今なお彷彿として脳裡を去らない。

筆者は姫路中学校入学以來先生の御逝去まで三十年の永い間一方ならぬ御世話になり先生の驥尾に附して博物の道へ入つたのでした。教壇に立つようになってからは一つ一つの教材を通じて先生の思い出がつかまぜん。御授業中持ち出される標本の殆んど総てが、郷土関係のもので、それには夫々來歴があり、「これは第⑩回卒業生の何某が明延鉞山の技師で……寄贈したもの……」「これは但馬の妙見山で俺が採集した。その時は……」と云う具合で、我々の思いは教室から遠くその鉞山、その山へと走り採集旅行熱をそよりました。又授業はたゞに博物科のみに止まらず、生徒の生活、生徒の社会にまで発展し、その当時既に性教育の如きものを何の懸念もなく大膽に取り扱はれ、生徒に一寸も妙な氣持を起させない。今にして思へばこれは先生にして初めてなし得ることで、先生の御熱心、強い御信念の前には雜念の入る余地がなかつたこと、思う。

先生はまた科学の普及と郷土の生物研究の紹介に非常な熱意を持たれ、それが結集し先生の音頭とりで兵庫縣博物学会が誕生したのは昭和五年のことである。これにより先生の御持論である地方同行者の相互連絡や郷土の研究発表機関が生れ、科学の普及にまず一步を乗り出すことが出来るのであるから先生の喜びは非常なものであつたと思ひます。

会の創立以來先生は本会発展のために全生命を打ち込まれ、我が子を育てるようにして会の成長を楽しまれたのである。会員は小学、中学、高等学校関係者はもとより、一般同好の士が多いのは本会の特色であり、先生の御徳をしたつて集る者四〇〇名を突破して全縣下隈なく研究調査された。会誌創刊号より第三十号の終刊までの論文の殆んど総てが郷土関係のものである。毎年夏休みには御老体をもおいといなく、若者を引きつれて海に山に採集、調査会を行われ、夏は苦が手で兎角あごを出し勝ちの筆者も、先生の「スローアンドステディリー」に引つぱられて漸くついて行く程でした。今もつて忘れられないのは昭和六年夏の奥谷國有林の採集旅行である。一行七〇名の会員が林間鉄道を利用して中國脊梁山脈へ分け入り溪谷三里を踏破しなければならぬ。勢揃いすると阿部先生に田代先生、何れも古稀に近い。それがお揃いで「今の若い者は……」と云つたようなお元氣さである。設備とでない山小屋に音水、赤西と三泊し

た。蚊軍と蚤の攻撃でとても寝つかれない。明日の難コースを思うと気はあせるばかりである。折しも先生が「井上ねむれぬなら睡眠薬を」と云つて先生の水筒から、生の秘薬を一杯頂戴した。お蔭で朝まで熟睡して疲労は拭うたように取れた。それ以来非常時にはこの秘薬を疲労回復と熟睡のために先生をしのびつゝ愛用することにしてゐる。先生晩年の筆者の思い出は総てが野外である。机上研究でなくして野外観察から机上研究へ、然も同行の土相集り、ともどもに相携えて自然の妙味を感得する喜びを、初学者にまで分つ。これが生のモットーで、初めて参加した人もぐんぐんこの道へ引き込まれたのである。

会員は幾何級数的に増し、本会も大飛躍せんとするとき先生の御健康思はしからず、遂に永年我が家のようにされていた姫中を御退職された。卒業生はじめ、在校生の寂しさは一入である。

その頃より時局は益々進展し、兵庫縣博物学会も縣の指令で中等教育博物学会と合流し、発展的解消をすることゝなつた。創立十年にして会誌第三十号を最後とし、偉大な足跡を残してその幕をとじた。解体後も、一生は高血圧と戦いながら同行者のために種々の研究会から講師のお世話や、中等教育博物学会の應援まで一方ならぬ御活躍でした。

然るに戦い愈々たけなわに、同好の士が戦場に工場につぎつぎ動員されでいるとき、昭和十九年五月三十四日、先生忽然として御逝去されました。筆者が訃音に接したのはその数日後で告別式にも出席出来ず、初七日に工場から帰り、靈前に伏して御無礼をお詫びし御冥福をお祈りした次第であります。

中絶状態にあつた縣下生物学会も終戦三年にして漸く虚脱状態から立ち上り、こゝに再び生物学会の誕生をみ、会員一体になつて先生の御遺志を継がんとしてゐます。御鞭撻、御加護あらんことを。(1948.9.7稿)

生物科第一回内地留學者

教育会に新設された内地(●京大)留学者中、生物方面の1回の光榮を担れた方は次の三氏である。

岡村はた、兵庫高校、上野教授指導(淡水生物学専攻)

瀬戸良三、西宮市甲東小学校、北村教授指導(●豈科植物の分類)

河野好博、淡路津名郡鮎原小学校、北村教授指導(●東亞アスター属の分類)

因に希望者は各校長を通じて縣に申請すればよい。